

令和7年度 シラバス

愛媛県宇和島東高等学校津島分校

教科	国語	科目	古典探究	単位数	2	学年	3	類型	カレッジコース
教科書	新編古典探究			副教材	新編古典探究 学習課題ノート				

学期	月	単元名	指導項目、内容	重視する評価の観点			学習のねらい・学習の目標・評価の観点
				知	思	主	
1 学期	4						学習のねらい
		随筆を味わう	枕草子 三大随筆『枕草子』について知る。 作者のものの見方や考え方を知る。	○	◎		1学期には「枕草子」や「伊勢物語」等の平安時代の文学を読み味わいます。登場人物についてまとめたり時代背景について調べたりして、理解を深めていきます。 2学期には、漢文の「史記」や諸子百家の思想について学んでいきます。漢文の返り点など基本的な文法事項を確認しながら読み進めます。古文では、「大鏡」を読み味わいます。 3学期には、「源氏物語」を読みます。作り物語を多面的・多角的な視点から読み、考えを広げます。
					○	◎	
	5	小話を読む	小話 故事の背景を知り、漢文に親しむ。	◎	○		
			〃		◎	○	
			〃	中間考査	◎	◎	
		物語を楽しむ	伊勢物語 物語の内容を叙述に即して読み取らせる。	◎	○		
	6		〃	○	◎		
			〃		○	◎	
			〃		○	◎	
			〃	期末考査	◎	◎	
	7	古詩を味わう	古体詩 簡潔で含蓄のある表現から明確な主張を読み取らせる	◎	○		生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにします。論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることを目指します。
			〃	○	◎		
			〃		◎	○	
2 学期	8						
	9	歴史物語を読む	大鏡 本文を正しく読解し、登場人物の心情を考えさせる。	◎	○		
			〃	○	◎		
			〃		○	◎	
	10	史記を味わう	廉頗と藺相如 登場人物の行動や心情について考えさせる。	◎	○		知識・技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
			〃	中間考査	◎	◎	
			〃	○	◎		
			〃	○	◎		
			〃		○	◎	
		歌話・歌論を読む	袋草紙・無名抄 歌人の生き方やものの見方を理解させる。	◎	○		
	11		〃	○	◎		思考・判断・表現 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
			〃		○	◎	
		中国の思想	儒家と道家 儒家と道家の思想を理解させる。	◎	○		
			〃	○	◎		
	12		〃	期末考査	◎	◎	主体的に学習に取り組む態度
			儒家と道家の思想を理解させる。	○	◎		
			〃		○	◎	
3 学期	1						言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。
		作り物語を味わう	源氏物語 登場人物についてまとめ、それぞれの行動や心情を読み取らせる。	◎	○		
			〃		◎	○	
	2		家庭学習				備考
			〃				
			〃				
			〃				
	3						

※評価の観点 知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度

◆学習方法のポイント

【古典探究の目標】

- 古典は、長い年月を通して多くの人々の鑑賞に堪え、今もなお広く親しまれている作品です。古典の授業では、それらの作品を読むことによって、先人の優れたものの見方や考え方を学びます。

【授業】

- 週に2時間の授業があります。
- ノートに本文を写し、古語辞典を用い口語訳していきます。
- ノートは、板書に加えて口頭で示された重要ポイントも記し、工夫された「自分のノート」を作りましょう。
- 口語訳を利用して本文の内容理解深めます。また、古典文法や有職故実についても、その都度おさえていきます。

【家庭学習】

- 古語辞典も使用して、予習・復習を心掛けましょう。
- 授業で取りきれなかったノートは、家できちんとまとめておきましょう。

【定期考査】

- 普段の授業を大切に、日ごろから勉強しておきましょう。

【その他】

- その他、中国文学なども図書館の本を利用して読んでいきたいと思います。常日頃から読書を心掛けましょう。

◆評価の方法、規準

評価の方法	定期考査、授業への出席状況および学習意欲、課題提出とその内容、ノートの整理状況を知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度の三つの観点から評価します。	
評価の規準	1 学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します) 出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。) 課題提出状況等
	2 学期	中間考査、期末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します) 出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。) 課題提出状況等
	3 学期	学年末考査(全ての観点から評価しますが、主に知識・技能 思考・判断・表現を重視します) 出席状況及び学習意欲(主に主体的に学習に取り組む態度の観点から評価します。) ノートの整理状況(主に知識・技能 思考・判断・表現の観点から評価します。) 課題提出状況等
	学 年	1学期の成績、2学期の成績、3学期の成績を総合的に評価